

川はこどもの栄養源

いきいき学習3題

<大井川川まつり>

8月24日(金)、プラザおおりで開催された第14回大井川川まつり。「くらしと大井川のかかわり」を知ってもらおう恒例の企画ですが、今回はFM島田での呼びかけや学校へのチラシ配布などの積極的な広報で400名前後の来場者があり、例年以上に賑やかなイベントとなりました。

関係団体からはLEDと豆電球の消費電力の違いを比べる『電気実験』や坂を転がる水のボールで威力を体感する『水のちから』、川の水が水道水になるまでを紹介したコーナーや輦台越し・聖牛模型の展示などが行われ、多くの来場者の関心を惹いていました。



↑ 笹舟作りを楽しむ子ども達

「電気実験」コーナー

↑ どのくらいで電球が付くかな？



組合はミニ水族館

今年は昨年からの濁水などで大井川の魚が減り、確保に苦労しましたが、アユやアマゴ、カワムツやヨシノボリなど、計8種の水生生物を展示しました。また『川のおさかなクイズ』では、正解を求めて水槽を念入りに眺める子ども達も多く、「大井川にウナギ



がいるとは知らなかった」など、魚と触れ合い興味を持ってもらういい機会になったようです。



↑ みんなサワガニにくぎづけ

水生生物を評価

8月8日、国交省静岡河川事務所が初倉小児童とともに大井川(島田市阪本)で水質評価のため簡易水質検査を行い、子ども達はタモやふるいを手に川に入り、普段目にするものの少ない水生生物の観察をしました。評価結果は「きれいな水」を示す生物が多く見られました。

ほかにも市内では3日に神座小、7日に六合東小が実施しました。

初心者の 鮎友釣り教室

鮎 友釣り教室では7名の参加があり、1時間余りの講義(アユの習性・漁具・釣法)のあと、伊久美川での実技指導を受けました。友竿を手にスタッフから鼻環の付け方やポイントの見極め方の指導を受け、渇水気味でしたがポイントを探りながら初めてのオトリ操作を楽しみました。



↑ 友釣りの講義にも熱が入ります。

7月29日(日)午前9時から伊久美川でハヤ釣り(親子向け)と鮎友釣り(中学生以上)の初心者向け教室を開催しました。

ハ ヤ釣り教室に参加した参加者(保護者含め15名)は、やまゆりで川のきまりや仕掛けの結び方などの講義を受けた後、淵に行きカワムツのえさ釣りを楽しみました。当たりを待つ子ども達の表情は真剣そのもの。親子とも川釣りは初めてという家族もいて、釣りあげる度に歓声が上がり、20尾以上を釣り上げる参加者もいました。

ご提供ありがとうございます

本教室にあたり釣具を寄贈してくださった方々です。釣具は今後も組合活動の中で大事に使用していきたいと思っています。

- ・ 高本茂義 様・親義 様
(手製おとり缶・たも網、鮎竿)
- ・ 西澤信雄 様(おとり缶)
- ・ 景山勝治 様(鮎竿)

また、釣具をお貸しくださいました皆様ありがとうございました。



↑ 次々と釣れて、みんな思わず夢中。